

「おれんじの風」
文字募集中!

特技・趣味の
グループ等も
受け付けています!

☎85-3150まで

題字 宇藤みらいさん
(木葉小学校5年)



玉東町社協だより

第166号

令和4年11月15日

2022(令和4)年 第35回
玉東町福祉大会紙面開催



やまの ゆうしん
山野 裕慎さん
山北小学校6年

小中学校生
福祉の町づくりに
関する作文
優秀者



いむた ももか
伊牟田 百香さん
木葉小学校6年



まえだ はるき
前田 晴輝さん
玉東中学校2年



やまと かほ
山戸 果歩さん
玉東中学校1年



にしざわ あいの
西澤 愛乃さん
玉東中学校3年

リポート Ver.72

&まさるくんの地域発掘探訪vol4

かとう かんた さとこ
加藤 貫太さん 聡子さんご夫婦
(上白木 在住)



こんにちは。今年の5月に上白木に「pizza and cafe SOIL〜ソイル〜」をOPENいたしました加藤です。久留米から妻の出身地の上白木に移住してきて約5年。PTA や消防団等を通じて沢山の玉東町の方々を知り合う事が出来、大変良くしていただきました。

そんな玉東町を少しでも盛り上げられるよう頑張っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。



食欲の秋! スポーツの秋と言いますが、私はもっぱら食欲の秋。最近、朝晩涼しくなりそろそろランニングをと思う今日この頃...高校時代のようにと思ってしまうが、体は正直。年齢には逆らえません。それに加えて形から入るタイプです。今年も食欲の秋で終わってしまっています...笑。(こごちゃん)



玉葉会 九・十月旬会
人住まぬ家両側に虫時雨
長らえて今年も拜む十三夜
蒼天へ鉄高々と甘藷搦る
明日へと木の実転がりゆきにけり
土作り菊にのめりし父のこと
ゆっくりと色を深めて実むらさき
天高し飛行機雲のひとすじに
宴終え余韻残れる秋の宵
五千尺越えて現る屋根紅葉
いたづらに手折りし菊の香り立つ
(玉葉会は町内の俳句サークルです)

緒方 昌子
安田 かし子
松本 妙子
坂本 友春
ひろ子

寄付御礼
香典返し

- (9月受付分)
●清田 順子様 二俣西 (亡夫 敬)
- 小山 信雄様 稲佐 (亡妻 妙清)
- 富田美代子様 大城寺 (亡夫 健一)
- (10月受付分)
●谷口 康文様 原倉西 (亡母 セイ子)

- 藤本 陽子様 原倉西 (亡夫 一哉)
- 清田 則子様 揚 (亡夫 誠一)
- 中尾 良成様 玉名市 (亡母 弘子 白木)
- 松崎真理子様 長崎県 (亡母 井上八千代 稲佐)
- 古切手収集 (有)鹿子木輪業様
- 吉田 國之様 原倉東

物品寄付

〈ふくしの総合相談〉

- ・障がい者の生活や虐待について
- ・成年後見制度について
- ・生活上の困りごとについて
- ・ボランティア活動に関する相談

〈玉東町生活よりせいセンター〉

- ・家計のやりくりの不安
- ・子どものひきこもりで心配
- ・仕事がなかなか見つからない など

玉東町社会福祉協議会 ☎0968-85-3150

土曜日・祝日(8:30~17:00)も受付します。

玉東町シルバー人材センター

会員募集



担当 谷口

☎0968-85-6305

編集・発行 玉東町社会福祉協議会
〒809-0303 玉東町木葉759
TEL0968-85-3150 FAX0968-85-2693
印刷 有明印刷



第35回 玉東町福祉大会 2022



第35回福祉大会の紙面開催について

新型コロナウイルス感染防止のため、今年も一同に会する福祉大会は開催できず、紙面による開催となりました。

玉東町社会福祉協議会は、拠点である福祉センターを改修し、更に誰でも利用しやすくなりました。

法人化38年を迎え、「私の町、福祉の町、玉東町」が実現できているのは、皆様のおかげと深く感謝しております。

わが故郷、玉東町が、誇りに思える、心豊かな福祉の町であることを、皆様とともに、再確認いたしまして、私の挨拶とします。



社会福祉法人
玉東町社会福祉協議会
会長 前田 移津行

福祉大会作文審査について

審査委員長 玉東町教育長 下地 哲雄

10月11日(火)に、町の各団体代表者6名の審査委員で審査を行いました。

作文の応募数は162点

- 小学校45点(山北小・木葉小の6年生)
- 中学校118点(玉東中1・2・3年生)

審査方法について

『作者名を伏せて、社協局員が作品を朗読、6名の審査員が朗読を聞いて、優秀と思う作品に投票する。』という方法で行いました。

◆優秀作品◆

優れた作品が多い中から

- 山北小6年 やまの ゆうしん 山野 裕慎さん
- 木葉小6年 いむ たもか 伊牟田百香さん
- 玉東中1年 やまと かほ 山戸 里歩さん
- 玉東中2年 まえだ はるき 前田 晴輝さん
- 玉東中3年 にしざわ あいの 西澤 愛乃さん

の作品を優秀作品として選びました。

※作文の写真の横にありますQRコードは、12月15日まで動画を見ることが出来ます。

どんな人も
幸せに平等に
暮らせるために



いむ たもか
伊牟田 百香さん
木葉小学校 6年

作文発表の
動画は
こちらから



みなさんは、どんな人も
幸せに暮らせる社会とは
どのようなことだと思
いますか。
福祉とはどのようなこ
とだと思えますか。
私は、障害者や高齢者
が不便なく暮らせる町づ
くり、家族や周りの人のサ
ポートが必要だと考えま
した。しかし、それだけで
本当に暮らしやすいとい
えるのでしょうか。
そして、そのどんな人も
幸せに暮らせる社会とは
どのようなことなのかを

考えてみました。
最近では24時間テレビ
で耳が聞こえない人、全身
のきん肉がまひして動く
のが難しい人、目が見えな
い人などさまざまな障害を
持つ人が仲間と協力を
して、エールをおくったり
全力でダンスをおどったり
新しいことにチャレンジし
てみたりするなど障害があ
る、ないに関係なく、ちよ
うせんしていることに感動
しました。でも、よく見て
みると周りにいる人も車い
すをおすなどのサポート
をしていました。

私達6年生は、認知症
のことについて学習し、オ
レンジリングをもらいまし
た。その時に、認知症の人
にはきつい声をかけるので
はなく、やさしく声をかけ
ると症状の進みがゆっくり
になるとおっしゃっていま
した。このことから、どん
な人も明るく幸せに暮らす
ことは、周りの人や家族の
サポートと、みんなが協力
することだと考えました。
さらに、障害者や高齢
者が安心してみんなと同
じように暮らせているのは、
いろいろな人が開発し、こ

の社会を便利にしていった
おかげだと思えます。例え
ば、車イスに乗ったまま登
れるスロープや目の見えな
い人が道を歩ける点字ブ
ロックなどがあります。物
だけではなく活動もあり
ます。オレンジはあとクラ
ブです。わかい人から高
齢の人まで参加できるスポ
ーツクラブです。スポーツだ
けでなくお年寄りの方も
できるような文化クラブ
のようなものもあります。
このような町づくりによ
って私達や障害者お年
寄りの方までみんなが安
心して暮らせているのだと
思いました。

このことをとおして、ま
ごころのこもったあいさつ
やお年寄りの方に対して
の優しい声かけなど、私に
もできる、みんなが明るく
なるようなことをやってみ
ようと思いました。

誰にも優しい
話し方



やまの ゆうしん
山野 裕慎さん
山北小学校 6年

作文発表の
動画は
こちらから



ぼくは、4年生でユニ
バーサルデザインやバリア
フリーなどについて学習を
しました。また、6年生で
は認知症について学習を
しました。学校で習っただ
けですが、福祉について学
ぶことができたことはとて
もよかったです。
もう亡くなってしまうた
のですが、ぼくにはひいお
じいちゃんがいました。ひい
おじいちゃんは認知症でし
たが、ぼくはまだ認知症に
ついて学ぶ前だったので、ど
う接していいかわかりませ
んでした。話が通じらずに困

ることもたくさんありま
したが、とりあえずぼくは
話すときに正面を向いて
大きな声で話すようにし
ました。すると、ひいおじ
いちゃんは元気に話をしてく
れるようになりました。6
年生になって認知症につ
いて学び、これが認知症への
正しい関わり方なのだと
知ることができました。そ
して、認知症かどうかに関
わらず、みんなが気持ちよ
く生活できることこそが
福祉ということなのかなと
思いました。
認知症の方には他にも
どんな関わり方があるのだ
でしょうか。調べてみました。
まずは「目線を合わせて
笑顔でよく聞こえるように
耳元で話す」ことです。そ
うすることで相手も穏や
かな気持ちでコミュニケーション
にのびてくれるはず
です。ぼくのしていた行動
はこれに近いのかもしれま
せん。他にも「早口で話し
たり、急に大きな声で話し
たりしない」ことも挙げら
れます。かえって混乱を招
く可能性があるそうです。
ゆっくりわかりやすく話す
ことが大切なポイントです。

ぼくがやっていたことは間違っていないかと知る事ができてうれしかったです。それと同時に、認知症の方は、より話し方に敏感なのだと気が付きました。認知症の方と接する時に大切なことは、人と人が生活していく上でも大切なことです。みんなが穏やかな気持ちでコミュニケーションをとることができ、みんなが幸せに暮らしていけることを『福祉』というのではないのでしょうか。ここで出てきたことはそんなに難しいことではありません。認知症サポート研修では『一日一回あいさつをする』だけでもOKということでした。



募集という紙を見ました。私は、それに応募して5日間ボランティア活動をしました。1日目は、耳がきこえづらいおばあちゃんやおじいちゃんや寝たきりのおばあちゃんなどいろいろな方々がいてうまく会話をできるかなと少し不安でした。でも、介護士の方がどう接しているかを見たりして2日目と3日目では高齢者の方と喋ることができました。ボランティアでは一緒にレクレーションをしたり、ご飯を一緒に食べて食事したりしてとても楽しく5日間いろいろな体験をする事ができました。この体験で、高齢者の生活を知る事が出来ました。その中で介護士の方々がその生活を支えているという事を自分でも実感でき福祉についてしっかり考える事ができました。

福祉の大切さ



やまと かほ
山戸 果歩 さん
玉東中学校 1年

作文発表の動画はこちらから



皆さんは福祉についてどう思いますか？私はそういう場所があるのは知っていましたが学校で福祉学習をするまでそこまで大切だと思いませんでした。ただ小学生の時の学習でも大切だと思えました。

皆さんの周りには認知症の方がいますか。私のおばあちゃんは認知症です。今のおばあちゃん、私の事も覚えていないかも分からないし急に怒ったり、薬を飲んだのも忘れてしまふことがありました。学校

中で一番思ったことが『日々の生活』についてです。私は、部活が嫌だな、辛いなど思うことがありますが、でも、障害者の方や高齢者の方は、何かをしたくてできないこともあって辛い思いをしています。だから嫌な事があっても部活や勉強を頑張ろうと思えました。

で認知症サポーター講義をせず認知症のことを何も知らなかったら怒ったり呆れたりしたかもしれない。もしかしたら理不尽なことを言ってしまったかもしれない。でも、認知症サポーター講義をおかげで接し方や話し方をどうすればいいかなどがわかりました。それにあまりモヤモヤせずに受け入れられました。

今は65歳以上の方の16%、95歳過ぎた男性は51%、女性だと84%が認知症だそうです。女性の方が男性より認知症になりやすいので少し心配です。けれど学習しておく自分達でそうなる時慌てたり不安になったりせずに安心して過ごせようだからです。なのでとても大切だと思えました。

皆さんは24時間テレビを知っていますか。私は24時間テレビを毎年見ている。私はその番組の中で好きなところがあります。それは障害の方が困難なことに挑戦したりしている所です。私は別に普通でできる事だと思っていました。

福祉体験で学んだこと



まえだ はるき
前田 晴輝 さん
玉東中学校 2年

作文発表の動画はこちらから



皆さんは、福祉についてよく知っていますか？私は福祉とは『助け合いでみんなが笑顔になる』と思うことだと思っています。

私は、4年生の頃に学校で福祉体験をしました。福祉体験では、障害者がどのような生活をしているかを体験しました。目が見えない人、耳が聞こえない人などの気持ちになって体験する事ができました。障害者がどのように生活しているか少し実感する事ができて、より知りたいなと思っていたときに介護ホームはぶのボランティアの



ない事はやらないといけなから今のうちに、いろいろなことを経験する事で社会に出てから困ることが少なくなると、成長していくと言っていました。今まで『特別』という名前がついているから特別に接するのかもしれないけど、それを聞いて違うのだという事を知ることができました。

お母さんが、今まで出会った生徒の中に、ダウン症の子がいます。その子は給食の時に、食べたいものだけ増やしたり、たまに勝手な行動を取ったりするそうです。自分ができない事があると、教室から出て行ってしまふ事もあるそうです。その時はちゃんと声をかけてその子に合う教え方をしているそうです。その生徒の気持ちがかかるまでには時間がかかるけど、できる事が増えたり、みんなと一緒に大人になつて行くのを見ると嬉しいし、成長を感じられると言っていました。

私は、前に友達と遊んでいた障がいがある人と会いました。その子もダウン症の子でした。初めて接した時は、怖くてどうしたらいいかわからなくなりました。だから無理やり引張つ

自分の考えを見直す



にしざわ あいの
西澤 愛乃 さん
玉東中学校 3年

作文発表の動画はこちらから



『障がい者』の事を知っていますか？私のお母さんは、教師をしているのですが教師の中でも『特別支援学校教諭』という資格も持っている、特別支援学級の担当をしています。特別支援学級とは、障がいのある人や、みんなと一緒に勉強するのが苦手な人が自分のペースで勉強できる場所です。お母さんは、障がいがあるからといって特別に優しく接したり、その子のやりたい事だけをやらせていた事ではないと言っていました。なぜなら、大人

逃げてしまいました。障がいのある人と分かっていて私は『離れよう』と思ってしまっていました。家に帰ってお母さんに話すと『外見や思いこみだけで、人を判断しているんじゃないよ』と言われました。それは差別やいじめに繋がっていました。障がいがある人との接し方を考えていこうと思えました。

私達は障がいのある人の気持ちは分からないから、今すぐ理解するのは難しいけど、障がいのある人に対して接し方を自分で考えていく事からは出れるから、まずは、自分からあいさつしたり、声をかけたりなど小さな事から始めていこうと思います。そして、相手をきちんと知ることも大切だと思えます。もし自分が障がいがあったらと考えると、これから生活していきます。そして障がいのある人だけでなく、体が不自由な方やお年寄りに対しての接し方も考えていきます。

秋の消防訓練実施

通所事業所・介護ホーム
はぶの
☎85-3390

10月17日に、介護ホームはぶの運営委員会と消防避難訓練を行いました。日頃より火の扱いには注意していますが、練習でもいざ消火・避難となると・・・。

日頃の練習が大切であると、強く感じました。これからも、安全安心を第一に利用者さんを支援していきます。



実習生の感想



実習期間
8月15日～9月22日まで
九州保健福祉大学 通信教育部
社会福祉学部 臨床福祉学科 3年
坂本 敬斗 (玉東町出身)

コロナ禍での実習ではありましたが、玉東町社会福祉協議会の様々な事業に関わらせて頂きました。玉東町の認知症施策を通して、改めて玉東町の温かみを感じました。

玉東町の方々に支えられて、無事に実習を終えることができたと思います。実習を活かして、今後の現場に活かしていこうと思います。

本当にありがとうございました。



実習期間
8月24日～9月22日まで
熊本学園大学 社会福祉学部
ライフウェルネス学科 3年
境 綾乃 (玉東町出身)

玉東町社会福祉協議会・介護ホームはぶので23日間実習させて頂きました。自分が育ってきた町ではありましたが、知らない事が沢山ありました。実習でしか学べない貴重な経験をさせていただき、地域と福祉の繋がりが大事であると感じることができ、玉東町について改めて知る事が出来ました。この実習で学んだ事を、今後の大学生活に生かしていきます。23日間ではありましたが、本当にありがとうございました。

歌声喫茶 オレンジカフェ

毎月開催中



歌のボランティアASSYさんのコンサート。懐かしい歌にひたりながら、オレンジカフェでほっこりしませんか？ボランティアさんも募集中です。お気軽にお声かけください！

今後の日程

- 12月23日 (金)
- 1月17日 (火)
- 2月15日 (水)
- 3月16日 (木)

場所：福祉センター
時間：午後1時 30分開場

令和4年度第35回 福祉大会 共同募金委員会企画

伝えようあなたのこころ エピソードアワード作品

今回初めて行いました、エピソードアワードでは、一般、及び小学校から、合計39点の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。

応募作品については、令和5年1月15日発行の「おれんじの風」167号及び玉東町社協のInstagramにて紹介させていただきます。ご期待ください。



玉東町社協の
Instagram
ぜひみてね！



ファミリーサポート センター 協力会員 養成講座 開講中!!

12月14日(水)
10:00～12:00

●子どもの予防接種について
保健介護課 保健師

●メディアについて
玉東町社会福祉協議会

【お問い合わせ・申し込み】
玉東町社会福祉協議会
☎85-3150



第4回 子どもの発育と病気

九看大の二宮先生に来て頂き、学術的な根拠をもとに、子どもの発達や病気について教えていただきました。

参加者の感想より

●幅広い知識で、様々な病気が網羅されていてよかった。発達の段階での対応の仕方や見極め方などとても勉強になった。

第5回 応急手当講習

有明消防玉東分署の救急救命士に来ていただき、実際の活動を通して、乳児と幼児の応急手当講習を学びました。

参加者の感想より

●今まで成人の応急手当は講習を受けたことがあったが、乳幼児の対応は受けたことがなかったので、万一の時にとても為になりました。



第6回 子どもの遊び

今回は、実際に山北保育園に出向き、園児さんの賑やかな声の中、子どもの成長に必要な「遊び」の大切さについてと、手遊びや歌や折り紙など、具体的に教えて頂きました。

参加者の感想より

●子どもの頃に帰ったようにワクワクしました。大人が、いかに子どもによりよい環境を整えてあげるかが、重要だと思いました。

受講者さん同士で教え合い♪
優しい心♡ほっこりしました。